

わんぬー田んに出る

わたしの

新しい国際交流財団

毎回の定例会、

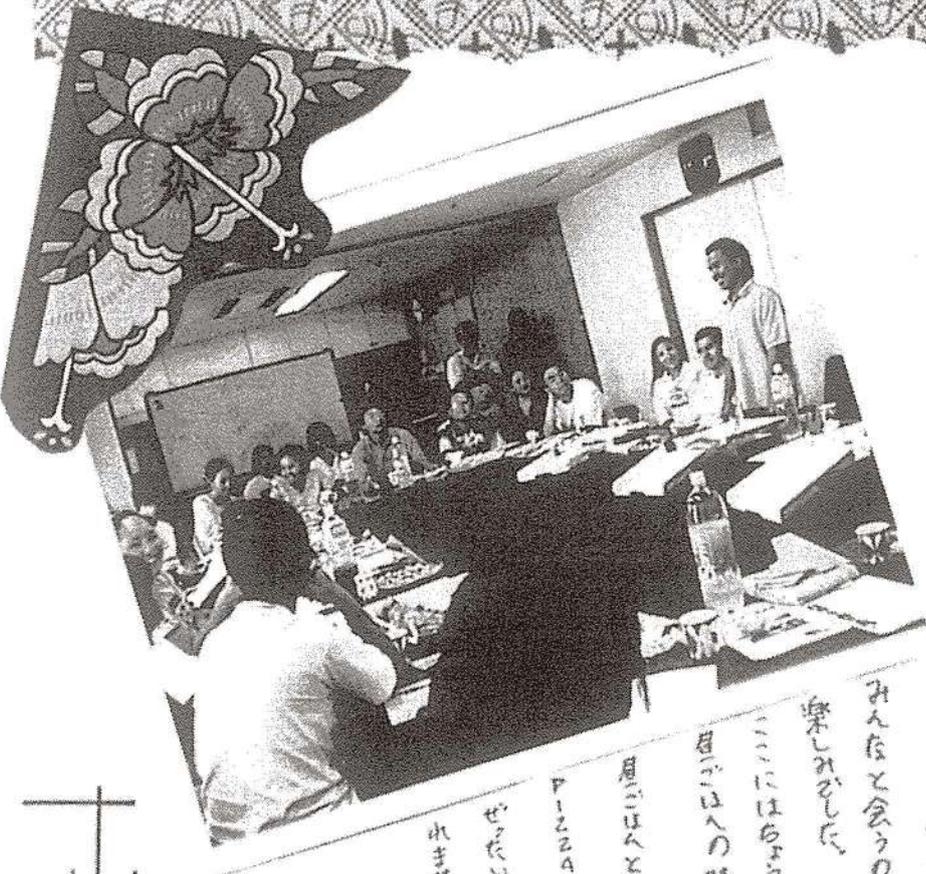
みんなと会うのが
楽しかったです。

ここにはちやうど
目ごぼりの時でした。

月ごぼりとさえは

PIZZAです!

ぜひだいにたれら
れませへ。



メリッサ - Melissa - Yoko - Erica - Ecorina
KARAKE ♪



琴
新人賞



未来ーちゆら夢 心にのせて



vivi

片手に三糸泉

- 10/31-前夜祭パレード
- 11/1-オープニングセレモニー
-野がひ踊り
- 11/2-エイサ
-上りくどち
- 11/3-カラテ
- 11/4-フィナーレ



PONCHO ARGENTINO



第3回世界のウチナンチュ大会

Worldwide Uchinanchu Festival in Okinawa 2001



のりに先生

私

や姉

や会長

第3回世界のウチナンチュ大会

空手道・古武道交流祭

2001.11.27・31



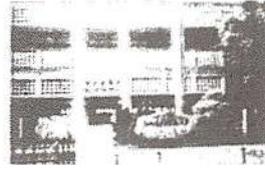
フィナーレ

Worldwide Uchinanchu Festival in Okinawa 2001
Music Fest



ウチナンチュの心

2001年に沖縄に留学しに来ました。一年間、沖縄県立芸術大学でビジュアルデザインと日本語を勉強していました。このチャンスは私のゆめでした。今、この経験で少し話すつもりです。



芸大

最初は日本語をあまり分かりませんでしたので、デザインの授業で少し困っていました。でも、デザインの先生と二年生のみなさんはとても親切に分らなかつた時にせつめいをしてくださいました。

だから、早くてなれて、楽しくなりました。色々な面白いものを習いました。紙すき、シルク、木版、写真、ビデオ、コンピューターグラフィックとプランニングです。



芸大の学長と会った日



最初の日



最後に、グループで新しい製品のプロジェクトをしました。自分のグループは沖縄の女性のための水着のテーマをきめて、そして水着のコンセプトからプロモーションまでをしました。とてもいい経験をしました。

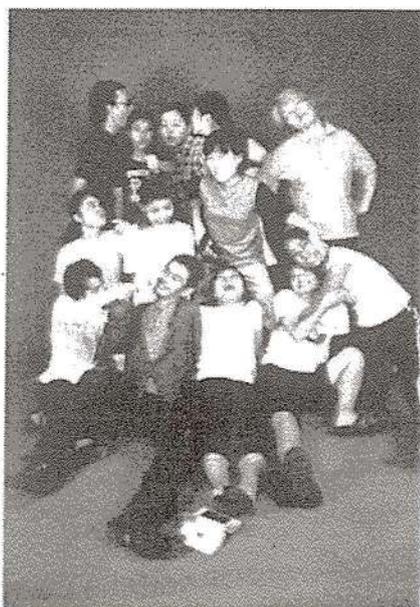


水着のロゴ

それから、日本語も勉強しました。これは大切だと思います。玉井先生は優しいし、教えり方は習いやすいので、日本語の授業は楽しかったです。そして、早く上手になって、人々と話せるようになりました。

デザインの二年生のみなが好きですが、四人はスペシャルでした。「真里亜、睦月、真鶴、都野、貴女達の事を忘れられないよ!!!」

「どうもありがとう!!!!!!!!!!!!」



スポーツの日



真里亜

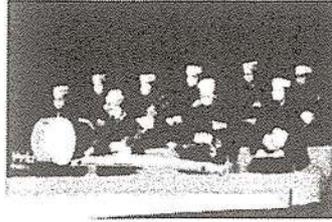


都野

私の誕生日

沖縄文花

沖縄おどりと音楽のはっぴょうを始めて見た時にすごく感動しました。「沖縄の着物はきれいだな。。。」「三線の音はすばらしいな。。。」と思いました。それで、こちらに来てから紅型と三線を勉強し始めました。



・紅型

沖縄伝統的なそめ方、紅型は明るい色を使いますので、沖縄の着物は特別美しいです。週一回首里公民館でやふそ先生に教えていただきました。みじかい間でしたが、紅型のプロセスを習って、色々な作品ができて、よかったです。

・三線

三線は照喜名先生に教えていただきました。あちらのどうじょうの先生のみなさんと生徒たちとママさんはいつも色々助けてくれましたから、今少し弾けるようになりました。「うれしい!!!」



照喜名先生



那覇祭り・バシド

イベント

この一年間にたくさんイベントにさんかしました。

でも、その中で三つ夏と冬の研修とウチナーンチュ大会が私のもっとも好きなものでした。夏と冬の研修は海外日系人協会が主催したイベントでした。四、五日間、東京で日系県留学生が集まって、話し、観光地に行つて、いっぱい友達ができました。とても楽しかったです。

夏の研修



冬の研修



・ウチナーチュ大会

2001年11月、6年ぶりに「世界のウチナーンチュ大会」が開催されました。この四日間に世界のウチナーンチュが沖縄に集まって、いっしょに素晴らしいイベントをしました。私はびっくりしました、三千人ぐらいが色々な国から来ましたが、同じ気持ちを持っていました。



オベニング・バックステージ



サンパロ！ロ！ロ！



エイサー・バックステージ



うち上げ

親戚

沖縄についた時初めてこちらの親戚と会いましたが、すぐ好きになりました。私は家族がとても大切だと思います。おばの家に行った時はいつもゆかいでした。しょうきおじさん、進さん、きにさんは自分の家族になりました。それから、あまりホームシックがありませんでした。



グラントゴルフ



私の沖縄の親とおじい



おばあのカジマヤー

去年、おばあのカジマヤーでした。そのひおばあは着物を着て、かわいくて、げんきでした。朝からいっぱいおきやくさまが来ていました。そして、食事の後でパレードをして、公民館でパーティーがありました。すばらしかったです!!!



おばあはかわいいね!!!

おばあが大好き!!!

姉妹

芸大の留学生は四人でした。

エリカ・ベル

私



みか・アヒゼンチン

メリサ・ハワイ

この四人の中で二人は私の姉妹になりました。楽しい時と苦しい時にいつもいっしょでした。

ねむたい時



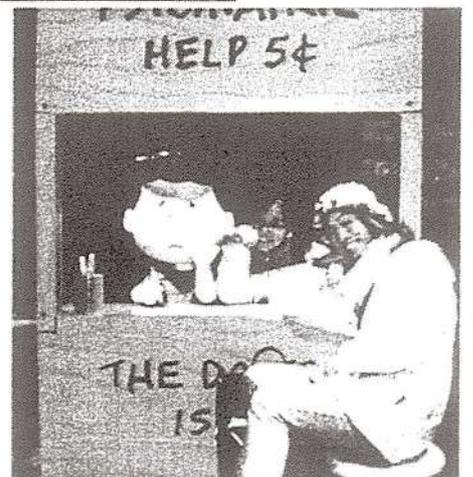
遊ぶ時



大風



ゆこう・ロス
私達の姉



姉妹



元気だね!!!!



私の妹はかわいいね!!!!



上手だね!!!!

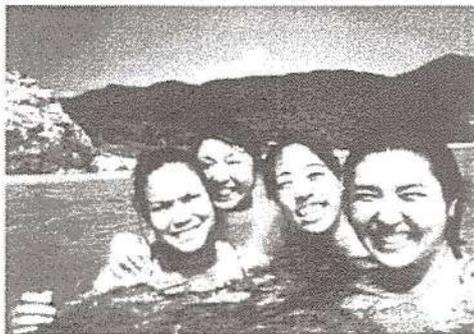
沖縄地域留学生交流推進協議会
第14回留学生等親善交流会



「メリサ、みが、
この留学は終わりましたけど、
私達の友情がつづくね!!」

友達

琉大の留学生、県研修生、大里の青年会のみなさんもいい友達になりました。いつもいっしょに遊びに行きました。本当に楽しかったです！！



最後の言葉

来た前にブラジルにいる留学だった先輩に色々なアドバイスをもらいました。みんなは沖縄で話す時に明るい顔をしました。「何でかな？」と思いましたけど、この一年間に沖縄に住んでいてから、今その気持ちよく分かります。たぶん今私も同じ顔をします。せつめいができませんが、だれかウチナーンチュだったら、ぜったい分かります。これはウチナーンチュの心です。



またや!

新垣 クリスタアネ
2002.02.07

2001年に沖縄で.....

ペルーでは沖縄県の奨学金のしんとはとてもむずかしかったですががんばりました。

ペルーのホルヘ・イバニェス空港でひこうきを待っている時、沖縄でたくさんのお話をしたいと思いました。

1997年2月17日
ペルーからまいりました。
沖縄県立芸術大学で
日本画

勉強
しました。

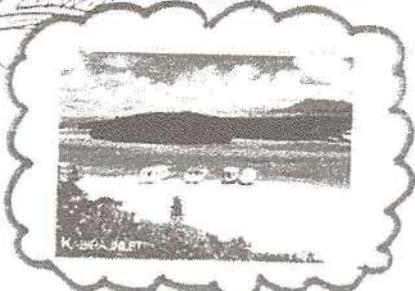


沖縄で私の祖母は生まれました、そして沖縄が祖母じいであることを自分でかくにんしたおっちゃんです。



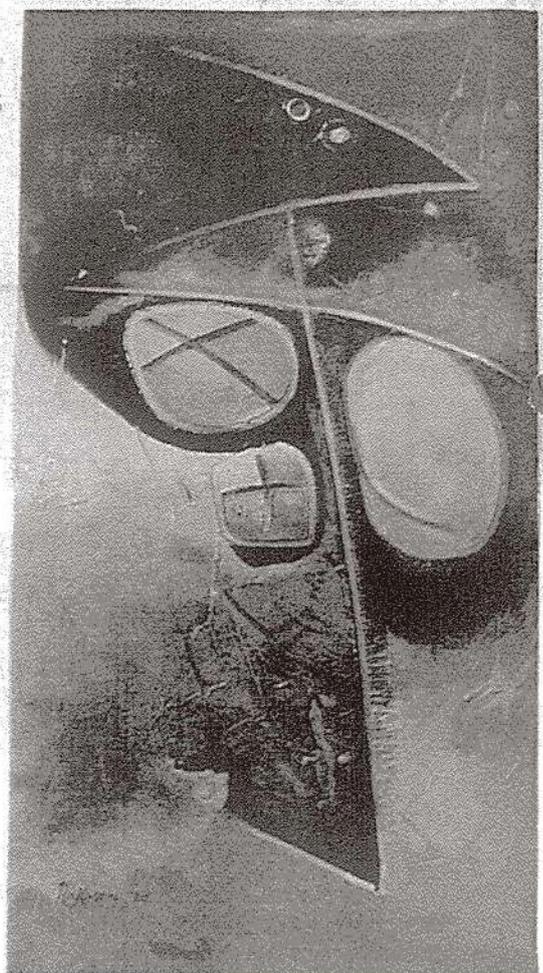
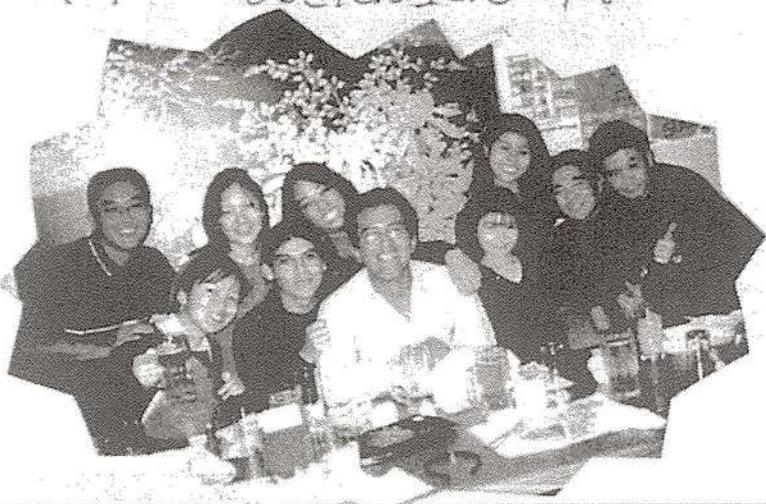
友達に沖縄はいい所だと言いました。来る前に沖縄の写真だけ見ました。

去年の4月15日の夜につきました。ひこうきでペルーから24時間ぐらいかかりましたからとても疲れました。私は那覇の空港のコピーを出した時、米4の知らない人が私に話しかけてくれました。それが見守団の平田さんでした。



ワチカン社 大会で えいさを 踊ったり ペルーの 友達に 会いました。
その 時は 沖縄市で 私の 個展を 開きました。個展の テマ
は「95年前」でした。私は 沖縄へ来た ころ 私の 祖母の chizhita
生活を 考えました。ペルーの 国語は スペイン語 ですが 私の 祖母
は ペルーへ 行った 時に スペイン語を
ぜんぜん 話せませんでした。そして また ちがう
生活が そこに ありました。ごすから 絵で
ペルーへ 行った 時の 沖縄の 人の 心を
あらわしました。

私の 祖母は 沖縄市の人 であら 私の
個展は 外国ではじめて 沖縄市の
ギャラリーで ひらけた からです。



美術家は 絵の中に 経馬舎を あらわしますが
おおくの 経馬舎が あたら たんさんアイデア
が あらわせます。それから 私は 一年間で
いろいろ 旅行を しました いろいろ ところ
に行きました。とかき島 とか あぐに島
とか みやこ島 とか どうきょう とか とちぎ
県 とか ながの 県 とか よこはまへ 行きました。



はじめて、雪を見れた スキーもしました。私と友達!はインストラクターに教えてもらいました。それからとても楽しかったけどその日私の足はいたったです。むかしかった!けしきの雪を見たら絵を描きたいでした。



ときよで「MOMA」ニューヨークの博物館

には クラウディアさんといっしょに入りました。はじめても私ののは PICASSO と KLEE と DUFUFETT の作品をかんさつしました。つばらしいし、おもしろいし、それにニューヨークで MOMA に入りたいです。もっと作品があると 思います。



いろいろな所へ行った絵の新しいアイデアをかんがえました。それにおもしろかったです。もちろん!



私は写真をとることが大好き

ですから今まで 800まいとりました。

私は子どもの時から絵が好きです。パーの大学で絵画を勉強しました。そして沖縄県で日本画とびんがたとすみえを勉強しました。

絵画のばあいは描く時に美術家の思考と感情も

表わします。それから 描く時に 誠実な 心を 伝えなければなりません。

私の絵のコンセプトは についでペルー人の ほんにんです。

私は 描く時にペルーの文化と日本の文化を 表わすつもりです。

日本画の 感じと 漢字の バランスを 研究しています。

その美学とペルーの形と色を ませて 描いています。

ペルーと びんがたと 日本画の

感じは とても ちがいますが、まぜる 時におもしろくて ちがかしい 描きかです。

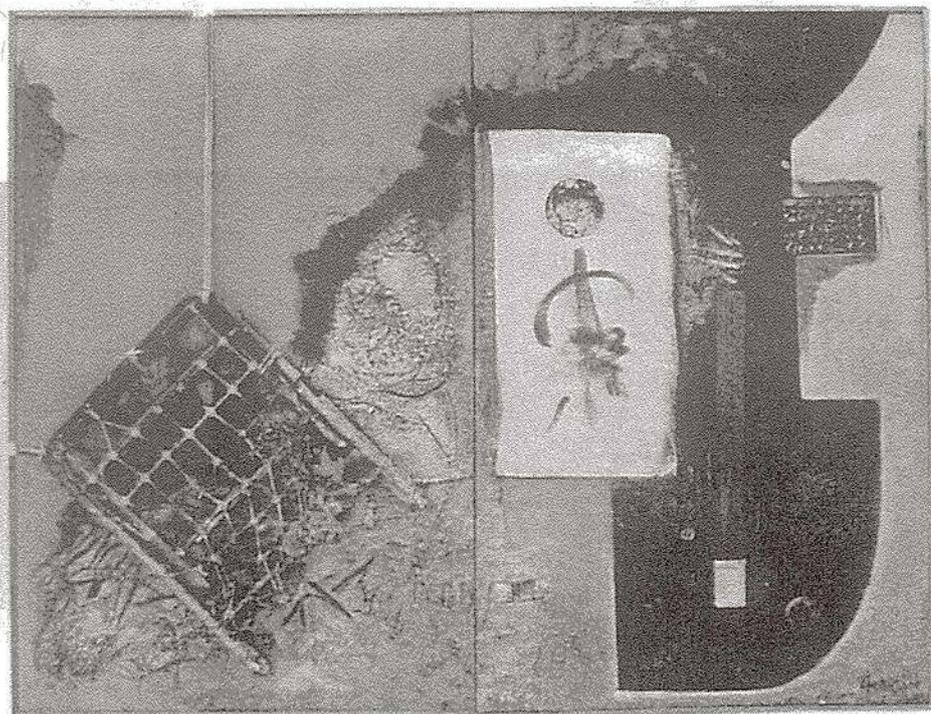
1995 年から 両方の文化の びんがたについて 研究しています。それから 今まで いろいろの 絵を 描きました。たとえば 解くべき 謎 この 絵の たて

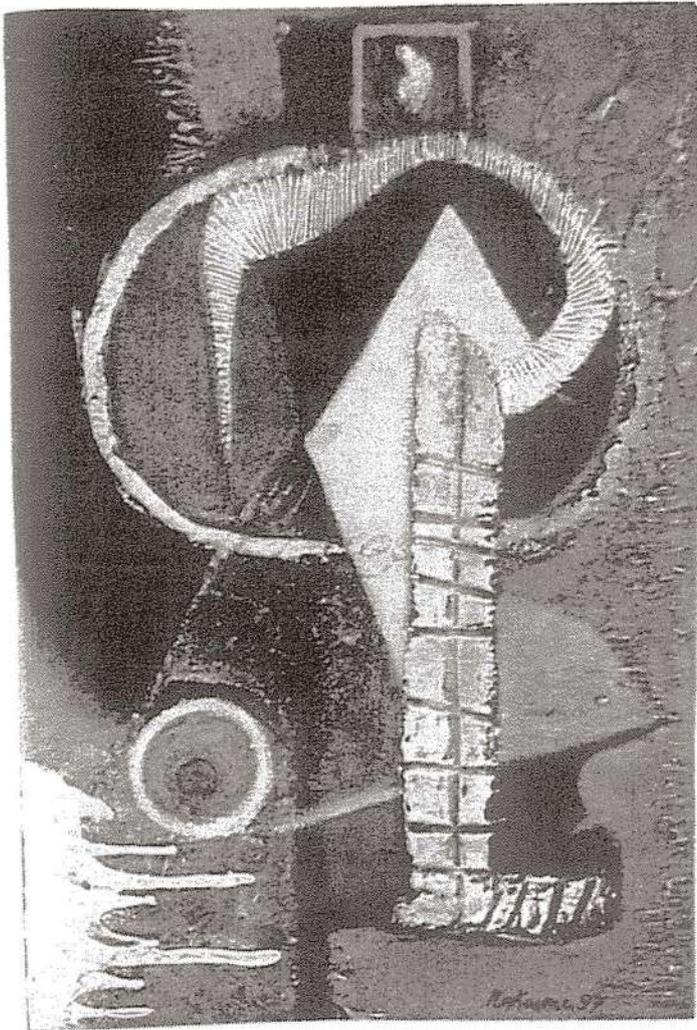
80 センチ と よこ 100 センチです。びんがたは UFO に対する 未知の 宇宙を 宇宙人の 存在。常に 探している 人間。

ほかの 絵は 祓に 敬意を表しています。

たて 200 センチ と よこ 260 センチです。

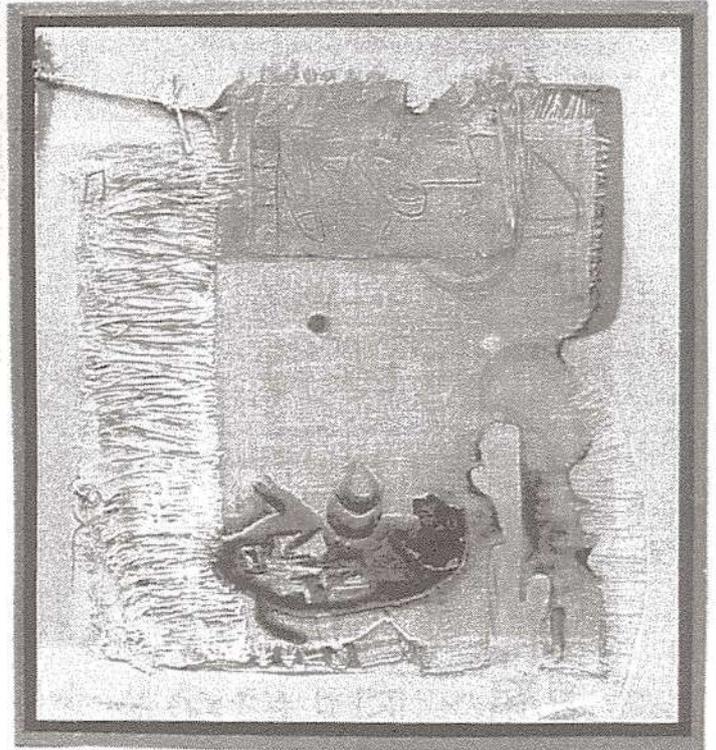
この 絵は 私の





祖父(知念ウツ)に敬意を
表し描きました。

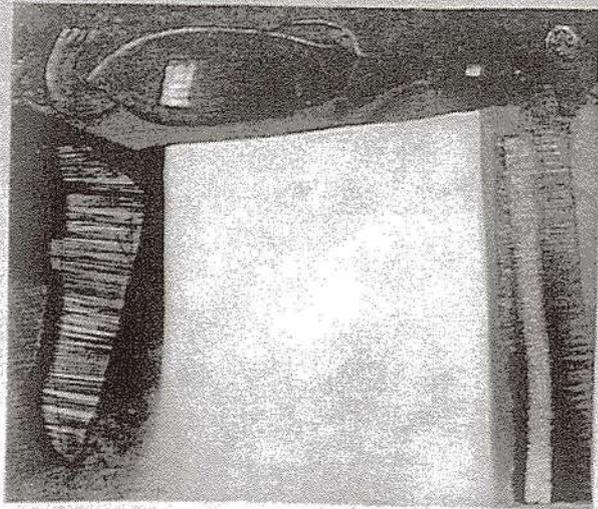
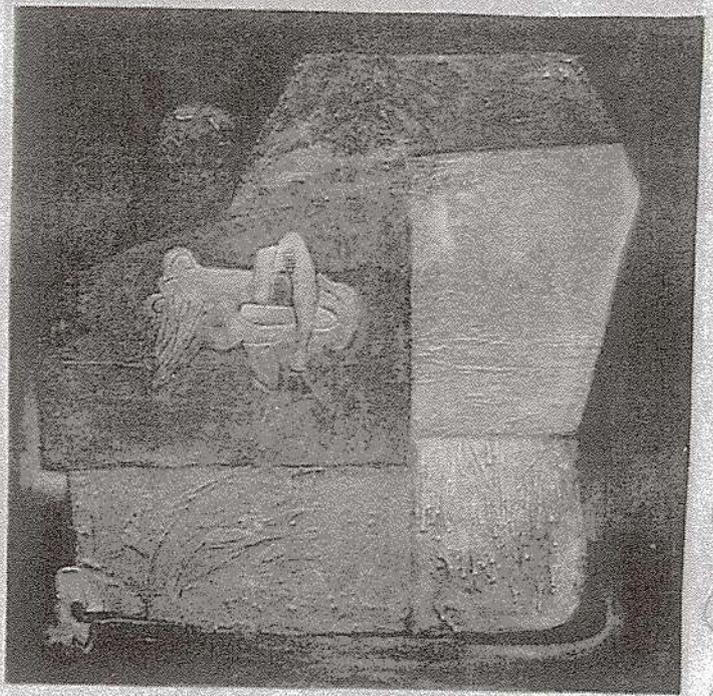
祖父はペルーへ来てのうぎょうを
しながう 1880 に 亡くなるまで



苦労が多く、生活が大変だったと思います。私が10才ぐらいの
時祖父は亡くなりましたが病気でベッドに寝ていたのを
覚えています。ネットは祖父のベッドを四角の丸い部分は祖父が好きだった
レコードを土はのぎょうを白いそして黒い形はシャベルを表しました。

1998年に虫袋を描きました。たつて54センチとよこ65センチです。いみは六つ
の角虫角、黒い翼、三つの円形の虫袋、赤は小青蒸丸、白は好意と
精神的なこと、ゴールド色は谷欠望日に見えぬことが見えること
のいみはたれにも見えないものを象徴とし、どこかわれわれの
存在する一種の云患です。

ほうかのテーマのりょうりについて描きました。たとえばメニューヤ



豆腐と肉が焼きとりやごはんなどがああります。

私のけいけんのテーマについてバケツヨソや足各傍の石や私の生活と時間などがああります。

といごに沖糸電へ来る前にペルーでは糸会のきょうしと画家でした。

私のせいとは80パーセントが日本のしゅしんです。沖糸電で私はなつたことをあとで私のせいとにおしえたいです。

私は日本の文化とくに沖糸電の文化とペルーの文化をいっしょにもつとけんきゆうしたいです。

ペルーといろいろなほかの国で個展をひろく時にりょうほうの文化をみせたいんです。

ペルーの沖糸電県しん会で糸会をおしえたりほかのことを



おつかれ でした
さま



ておたり、そして
沖縄の文化を
ひろめます。

一年間いっぱい 個展
と さんかい を した
から とても いそがしかた
です。でも よかったです。

友達と先生は

私を て だ っ て
下 さい ました。

そ して お し え て 下 さい
ま した。

ど う も

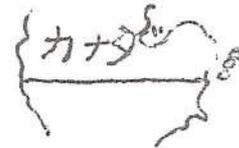
あ り が が っ と う
ご ざ い ました。

沖縄の生活

2001~2002

代智美本

私は、4月22日2001年に沖縄に来ました。カナダ、バンクーバーから飛行機から十二時がかりました。その時、日本の暮らしはどんなだろうと思っていました。ちょっと不安でした。でも、空港に着いた時、親戚が明るく迎えてくれたので不安がなくなりました！これから日本の生活を頑張ろうと思いました。

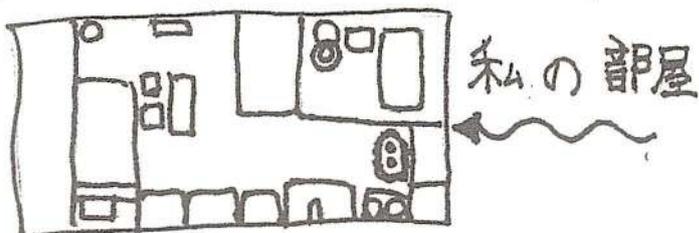


私は、名護の名桜大学に留学をする事になりました。名桜大学は、とても新しく、とても綺麗な大学です。大学の側に寮の中に住んでいます。大学まで五分もかからないのでとても便利です。でも、大学は、山の上なので、買い物をするのに、歩いて30分以上もかかります。一番近いコンビニも、寮から歩いて15分かかります。

名桜大学
の友達



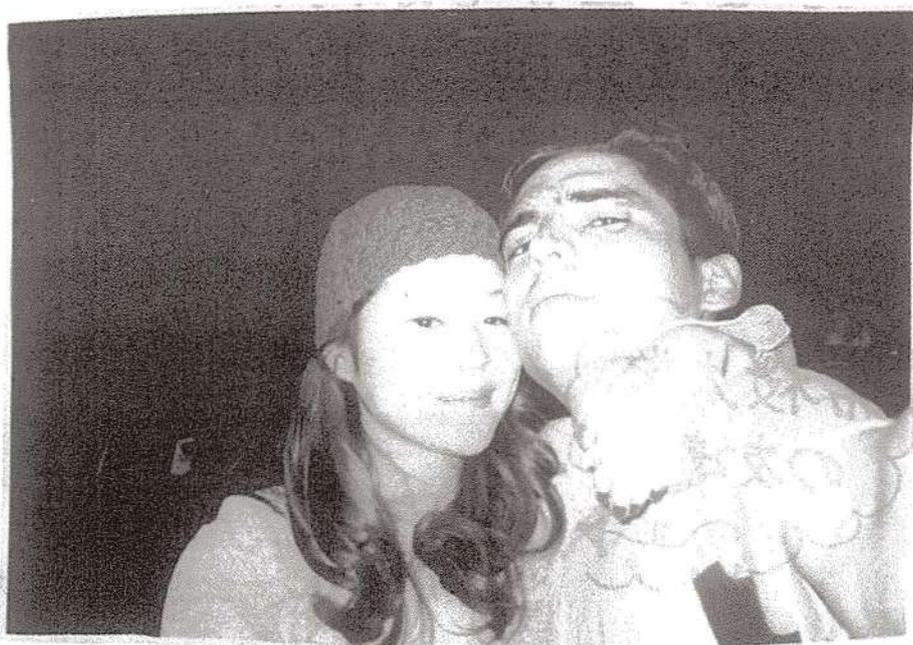
私は、今年で、初めての一人暮らしなので、4月と5月はとてもホームシックでした。私は、とても落ち込んで、部屋から出たくなかった思いでもあります。日本語の勉強もとても難しく、とても大変な時でした。友達もいなくて、私の人生で一番淋しかった時と思いました。



五月になったら、たけしと言う方と会いました。今、たけしと8月も付き合っています。たけしがいつも北谷町から名護まで遊びに来てくれて、淋しさがだんだんなくなりました。私に沖縄を面白くしてくれました。いろいろな所も連れて行ってもらうとてもありがたいです♡

ミッチと♡
♡ たけし

2002年のHappy
New
Year!
に取った
写真



夏休みの間は、横浜と京都へ遊びに行きました。横浜には、とても親切的な家族がいます。友達が五月に初めての子供を産みました。だから、横浜へ見に行きました。赤ちゃんの名前は、レーナです。とてもかわいくて、おとなしい赤ちゃんです。横浜でいろいろな所へ連れてもらって美味しい食物をいっぱい食べました。千尋の神隠しも見に行きました。日本で映画を見たことがなかったので、とても面白かったです。

それから、もう一人の友達の家泊まりに行きました。そこでいっぱい買物をしました。ゆかと言う友達は仕事で忙しかったので一人で東京を回りました。一日じゅう、渋谷、新宿、銀座原宿...etc...遊びながら買物をしました。東京は、人がいっぱいなので不安でした。やっぱり沖縄が一番と思いました。



←
私のおわが
パーティ

横浜の友達！

それから、父の親戚の所へ行きました。父は京都の人なので、おばちゃんとおじさんがいます。京都は、とても美しい所と思います。お寺がいっぱいあるし、庭がとても昔からちゃんと自然に残っています。京都では、おばちゃんの家泊まりました。おばちゃんの料理がとてもおいしいです。毎日いっぱい食べて、ちょっと太りました。それから、従兄弟の赤ちゃんを見に行きました。最後にお墓参りをしに行きました。いつも京都へ行く度に、行きます。夏休みは、とてもみじかく感じられるけども面白かったです。

横浜の友達居酒屋!



京都のしんせき!



ミチとレーナがわい!

9月からまた学校が始まりました。二学期は、もっと簡単な授業を取るようにしました。一学期は、難しかったので、初めから頑張ろうと決めました。

10月の終りごろ、父、母、兄と兄の婚約者が沖縄に来ました。ウチナソチュウ大会に参加をしに来ました。半年も会っていない家族と会えて、とても嬉しかったです。毎日、ウチナソチュウ大会で小むしいスケジュールがあったので、とても面白かったです。母は、毎日友達といろいろな用事があったので、大好きな父と遊びに行けました。父といっしょに100円ショップや、作業着を買いに行きました。父は、ステーキが好きなので、高いステーキハウスへ連れて行ってくれました。兄は、今年彼女にプロポーズをしたので、彼女の両親に挨拶をしに来ました。おすし店でパーティをして、とても楽しいおかわりの思いでした。沖縄の三味線や踊りをしたながら大騒ぎでした。父と兄は、11月の中旬ごろ帰りましたが、母は12月の初めごろ帰りました。母が帰る時は、とても悲しかったです。でも、来てくれても感謝しました。

今の冬休みは、彼の家で過ごしました。クリスマスのおい出は、ぜったい忘れないぐらい楽しかったです。私たちは、貧乏なので、紙でクリスマスツリーを作りました。朝起きてプレゼントを開けました。今年は、ステレオとコーヒーメーカーを買いました。夜は、友達とおでんを食べに行きました。いつも、外の店でおでんを食べたかったので、幸せに食べました。

正月の前日は、友達とクラブへ行きました。そこでカウントダウンをして、大騒ぎでした。次の日、一月一日、祖父の家に行きました。そこでお正月の挨拶をして、いろいろな食べ物を食べました。

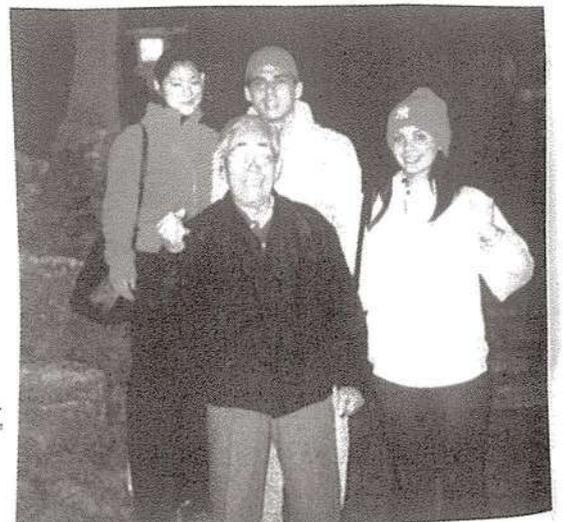
夜は彼の祖父や妹と波の上神宮へ行きました。私は初めて日本で正月を過ごすので、とても興味がありました。そこでうとうとをして、お守りとおみくじを買いました。今年は、大吉だったので嬉しいです！あとから、焼きそばとビールを飲みました。今年もいい年になるように頑張ろうとかんはいました。

波の上神宮→



クリスマスの日!

クリスマスト



今から大学の勉強や授業が終わりますけれども、まだ、まだ、日本語の勉強をしなればいけないと思います。来た時から、日本語が大分よくなっていますけれども、分からない事がまだいっぱいあります。だから、あと二年も沖縄に住む事に決めました。私は、沖縄に来てとても強くなったと思っています。初めに来た時と今を比べたら、ぜんぜん違います。私はカナダで、両親に、とても甘えていました。でも、今は、なんでも出来る自信をもっています。料理やかたづけがとても上手になりました！初めのホームシックや友達がいないう事で毎日泣いていましたけれども、今は、沖縄がホームと感じます。前は、友達がいなかつたのに、今は、だんだん出来るようになりました。私は、この一年間、本当に大人になったと思います。いつまでも沖縄の生活を忘れません。

十六年ぶりの南の島

ブラボ 岸本 研治

ア	と	会	一	が	し	の	学	孤	大	慣	最	活	大	か	な	た	ま	の	本	て	15	ご	私
イ	日	議	つ	行	た	ご	生	独	で	た	れ	初	働	丈	げ	か	中	し	ご	語	い	年	が
テ	本	で	の	な			達	を	た	の	こ	に	か	夫	ご	っ	途	た	留	も	ま	前	日
ン	人	し	活	わ	十	私	を	感	っ	ご	い	は	あ	ご	大	た	半		学	勉	せ	の	本
テ	大	た	働	れ	一	に	出	い	た	す	な		っ	は	分	の	端	ホ	後	強	ん	事	け
イ	学		に	ま	月	対	会	ま	一	ご	か	ホ	こ	あ	上	ご	な	り	六	し	ご	な	ご
テ	生	色	参	し	に	し	っ	し	人	く	っ	い	本	り	達	す	日	じ	月	て	し	の	最
イ	と	ん	加	た	は	て	こ	た	の	助	た	ム	当	ま	し		本	ア	ぐ	い	た	ご	後
を	共	な	し		ウ	す	付	同	留	か	時	ミ	に	せ	ま	現	語	び	ら	な		あ	に
な	に	国	ま	僕	チ	ご	き	時	学	り	に	ッ	良	ん	し	代	全	話	い	か	そ	ま	来
く	ご	の	し	は	ナ	く	合	沖	生	ま		ク	か		た	友	然	し	苦	っ	し	り	た
な	う	研	た	そ	ン	愉	ウ	繩	な	し	夏	や	っ	昨	が	達	通	こ	旁	た	て	覚	の
ら	や	修		の	今	快	機	に	の	た	期	日	た	年	ま	の	じ	い			日	え	か
な	っ	生	ワ	イ	ユ	な	会	い	ご	特	の	本	と	は	た	お							
い	こ		ル	バ	ウ	い	か	る	初	に	研	の	思	色									
よ	沖	留	ム	ン	大	経	あ	他	め	僕	修	生	い	ん									
う	繩	学	学	ト	会	験	っ	の	に	は	か	活	ま	な									
に	の	生	生	の	の	ご	た	留	は	農	あ	に	す	ノ									



一	い	農	ま	ご	一	国	し	分	が	の	め	花	ま	花	参	員	ス	が	と	米	に	月	が	様
年	さ	大	し	ざ	年	す	い	花	っ	マ	て	咲	び	時	加	も	マ	行	思	が	母	は	参	々
間	ん		よ	い	間	る	の	が	こ	ソ	い	く	に	期	者	一	び	な	っ	日	さ	と	り	な
よ	と	友	う	ま	世	留	ご	咲	き	ゴ	ま	が	は	な	び	緒	快	い	た	本	ん	こ	ま	戦
ろ	お	達	ね	し	話	学	す	い	た	い	し	分	私	の	し	た	く	夏	。	か	が	も	し	略
し	ば			た	に			こ	の	の	た	か	達	ご	た	っ	過	ご	そ	ら	帰	忙	た	を
く	さ	祖	こ	ま	な	研	最	い	ご	樹	ら	が	す	。	た	し	知	れ	程	国	し		立	
お	ん	父	し	た	っ	修	後	る	す	な	ど	な	管	ご	現	か	ま	り	か	遠	す	か	21	こ
願	だ		こ	い	こ	生	ご	の	の	う	か	理	く	在	ら	し	合	ら	く	る	っ	年	ま	
い	ち	祖	財	っ	有	達	れ	本	だ	ご	し	っ	し	忙	農	ウ	た	っ	三	じ	日	た	ぶ	し
し	に	母	団	か	り	に	か	当	け	収	こ	た	こ	か	大	チ		た	周	ヤ	に	の	り	た
ま	後	お		会	難	二	ら	に	ご	量	か	の	い	し	の	ナ	今	友	間	な	な	ご	ご	
す。				い	う	の	帰	楽	今	が	言	ア	る	い	マ	一	回	達	後	け	っ	あ	し	同
									は	だ	う	テ	マ	の	ン	か	は	こ	冬	れ	た	っ	た	月
									大	ん	と	モ	ン	ご	ゴ	ら	技	ク	期	ば	そ	こ	そ	に
									だ		ヤ	ゴ	す	一	ル	術	リ	の	い	の	い	の	母	
									ん	ル	に	一	昨	か	人	研	ス	研	い	時	う	一	さ	
									下	年	初	が	年	開	の	修	マ	修	な	南	ま	カ	ん	



海が見える日々：一生の思い出になる一年間

ユー・イボーン(Yiu Evonne)
シンガポール

修了報告書を提出のために、去年4月から撮ってきた写真を全部出して、一枚一枚懐かしく目を通します。一年って早いなあ~と感嘆しながら、感謝の気持ちが胸でいっぱいです。一年間に色々あったわと。

最初この島についてよくわからなくて、不安もいっぱいでした。「へえ？沖繩ってどこ？何でそういう所に行くの?!」と友達に言われたこともあります。率直に言えば、日本研究学を専攻し、東京に憧れていた私は当時も悩んでいました。しかし、東京は将来仕事で行く機会が多いはずだが、沖繩はなかなか行かない所なので、そこで一年暮らしてみたらと思いました。それで、勇気を出して沖繩に来て、初めての留学生生活を始めました。偶に暇があれば、沖繩を知るために、沖繩本島のあっちこっちを見学に行くのが好きです。それから、日本本島と異なる沖繩の独特な琉球文化に感心させ、人々の明るくさに感動させています。そして、戦争に苦しめられた沖繩の人々の痛みを通して平和の大切をもっと大事になりました。ずっと辛い過去だったのに、ウチナーンチュは何故かまだあんなに楽天的なのか、と不思議だと思えます。しかし、自分は車を持っていなくて、友達を頼まないと殆ど出掛けられなかったのが、残念ながら、沖繩の勉強も限られました。



4月中旬、座喜味城跡。沖繩に来た2週間目なのに、皆で名護まで行って、ヤンバルでキャンプしてた！

せっかく美ら海に囲まれている沖繩に来たから、本島だけではなく、離島も行かないとね。なのでゴールデンウィークに行ってきた久米島を始め、今まで座間味島、渡嘉敷島、久高島を廻ってきたが、3月に石垣島まで行く予定です。その中、一番印象に残ったのが久米島の旅でした。初めての離島の旅でとても楽しみしていましたが、行く途中の高速船は1時間半ずっと激しく上下して揺れていたのが、恐ろしかった経験でした。それに、久米島で自転車で観光していたが、坂道が多かったので、下がる時にスピードが失調してしまって転んで怪我してしまいました。なのに、とても楽しかったし、記念すべき旅になりました。座間味島の透明な海水と360度も星がいっぱいはっきり見える星空にも驚嘆させました。本当に、沖繩の離島の海と田園風景にとっても感心させました。あんなに素晴らしい光景が人生初めて見えたのです。



5月、久米島初めての離島の旅。自転車で転んだ前。

沖縄だけではなく、夏休みに、毎日節約してきた奨学金で日本本島も見学しに行ってきました。季節限定のJR青春18切符を利用して、1ヵ月旅をしました。大分を始め、福岡、大坂、京都、奈良、神戸、東京、名古屋、長野、鎌倉、横浜など九州から関東まで足を運びました。目的地には友達がありますが、移動するのはずっと一人だったので、かなり大変でした。青春18きっぷは普通、急行、快速列車しか乗らないので、時刻表を読んで列車の乗り換えを合わせるのも大変！もう二度としたくない旅行の方法だと思いましたが、一人の旅でも途中の景色を見ながら、色々を思考したら楽しいと思いますよ。そして、冬休みは北海道に行って、人生初めて雪を見えました。全日本を旅したという感じでした。日本を廻っていて、やはり沖縄とは違うんだと度々思わせました。沖縄の人々の方が情熱だし、親切で落ち着かいと思うのです。何だか本島に旅行する度に、沖縄に早く帰りたい、帰りたいと。



1月、北海道の旭川。雪合戦が最高！

日本の夏と言えば、沖縄で過ごせば最高だとよく言われていますね。残念ながら、夏休みの時は殆ど沖縄にいなかったもので、沖縄の夏と言えば台風しか印象に残りませんでした。10日間卒業式に出席するためにシンガポールへ一時帰国帰国する2日間前、ちょうど台風16号が沖縄に上陸しました。天災のないシンガポール出身の私には、台風はかなり恐ろしいと思います。なのに、台風のお蔭で学校も2回ほど休ませたことがあるので、台風にも感謝の気持ちがあります。(笑)

沖縄で色々な面白い初体験もありました。海が大好きですが、泳げないので、ダイビングやサーフィンなどマリンスポーツが無理ですが、海にどうしても近付きたいので、琉大の釣り部に入って、釣りを始めました。と言っても今まで5回しか釣りに行かなかったが、平均で毎回は1匹が釣れました。初めて釣れた魚は67センチもある太刀魚で大喜びしました。そして、沖縄テレビの「恋のうた」という初ドラマにもスタッフとして参加しました。県費留学生でアルバイトが禁止されているので、もちろん給料なんか貰わずにボランティアとして手伝いました。実は出演者のオーディションの第2回戦まで合格したが、やはり外国人の役がないのだが、スタッフとしても参加したいから、運が良く監督に記録するスクリプトを指名させていただきました。1週間ぐらいドラマの撮影でしたが、本当に非常に勉強になって、将来の仕事にも役に立つ経験だと思いました。出演者とスタッフは全員日本人でしたが、皆は優しいし、親切な取り扱ってくれたので、とても感動させて、感謝しています。

シンガポールの大学での日本研究会の会長だった私は、沖縄に来て、日本人にシンガポールをPRする活動に努力し続けてきました。夏休みに沖縄県代表として大分県の『第5回アジア大学分科会』に参加し、五日間アジア諸国と日本の大学生と異文化コミュニケーションについての課題を討論してきました。シンガポールの多民族の文化を紹介する一方で、皆の色々な思想を知りながら視野も広げた気がしました。その後、国際交流する使命感を持ちながら長野の松本市における湘南女子高校の生徒達の所でホームステイしました。そして、1月に教師の友達に誘われ、那覇にある小緑高校で生徒達にシンガポールについて紹介する演説をしました。去年成立したばかりの沖縄シンガポール協会にもメンバーとして入会したが、今までの参加は全然不十分なので、シンガポールに帰ってから、沖縄とシンガポールの架け橋として沖縄のことをシンガポールの人に紹介するのに努力させていただきたいと思います。



8月、長野の松本市。湘南高校の女子高生と久しぶりのバスケットボール

留学生活は毎日楽しんでいましたが、ずっと遊んでいるばかりだけではありませんでした。琉球大学での勉強もとても受益でした。面接と試験に受かって、幸いことに琉大の日本語クラスの中でレベルは最も高いと言われる1組に入りました。実は授業の日本語水準は自分の能力よりずっと高いが、熱心な先生達の教導で非常に良い勉強になりました。そして、初めて各々の国籍を持つ友達と一緒に日本語を勉強するのも非常に面白かったと思います。前期にクラスの皆で芝居を演じて発表したり、見学に行ったり、偶に誰かの誕生日会を行ったりして楽しかったです。ここの勉強は国で勉強したものより4倍ほど増えたので殆ど吸収できませんでしたが、本当に役に立つので、帰国してからここで勉強してきたものをもう一度復習して、必死に勉強するつもりです。



13年度前期の1組クラス: 偶に誰かの誕生日を祝うためにパーティーをする



12月初め: 日本語能力検定試験を受けに福岡へ行った時にも、長崎のハウステンボスへも行って来た!

ここ一年間に何を達したか、何を
得たか、と聞かれたら、困られます
よね。日本語の能力的に言えば、明
らかに来る前に普通に話したり、聞
き取ったりできるようになりました。
日本語能力検定試験1級も受か
ったし、年度の琉大の留学生スピー
チ大会でも優勝しました。スピー
チ大会で優秀できるなんて信じられ
なかったが、ものすごく嬉しかった
です。いつもクラスで自分の意見を
よく伝えられなかった私にとっては、
今回の優秀は非常に励ましてくれ
たし、日本語に対する自信を倍にア
ップさせました。後は、日本のニュ
ースも分かるようになったからこそ、
関心を持つようになりました。

しかし、得たのは只勉強に関するものだけではありませんでした。初めて家族と離れて初めての留学生生活で、独立になったし、成長できた気がします。せめて料理が作れるようになりました。(笑)そして、自分の性格や、シンガポール人としてのイデンティティーもよく新たにわかってきます。多民族、多分化、国際的なシンガポールの出身でも、異文化コミュニケーションは必ず楽なものだわけではない、ということに気が付きました。真面目で、ちょっと冷たく見える私は、本当は情熱的なのに、人見知りなので、なかなか積極的に人に近付いたり、声をかけたりあまりできなくて、本当に不器用だと感じました。



9月、今帰仁のあるビーチ。寮の友達との遠足は超楽しかった！

元々文部省奨学金を受けたかったが、沖縄県費の留学生として沖縄に来てよかったと思います。財団はいつも面倒を見てくれていたので、とても助かりました。一人で海を渡って親戚や友人がいない所で暮らして、不安が山々だが、何かあったら誰がいつも助けてくれるとわかると、とても安心させます。それに、寮の友達とも仲良く家族みたいので、優しい彼女達のお蔭で異郷にいても寂しさがあまり感じられませんでした。そして、県費留学生の皆が、普通は別々に各々の生活をしているが、お互いに関心したり、助け合ったりしていました。もっともっと皆と付き合いたいのにな.....

今回の留学で、学んだのはただ沖縄と日本のことだけではなく、色々の国籍の人と出会って、触れ合ってから、自分の視野が広がって、世界の理解も深まった気がします。南米って、共通語は葡萄牙語とスペイン語のを知りませんでした。(笑)仲良しは韓国人が殆どなので、韓国にも興味を持つようになって、韓国語でも学び始めています。しかし、ここでできた友達とやっと仲良くなったのに、徐徐離れていくので、本当に、本当にとっても淋しく思っています。



1月23日。県費の友達からも誕生日を祝ってくれた！^^



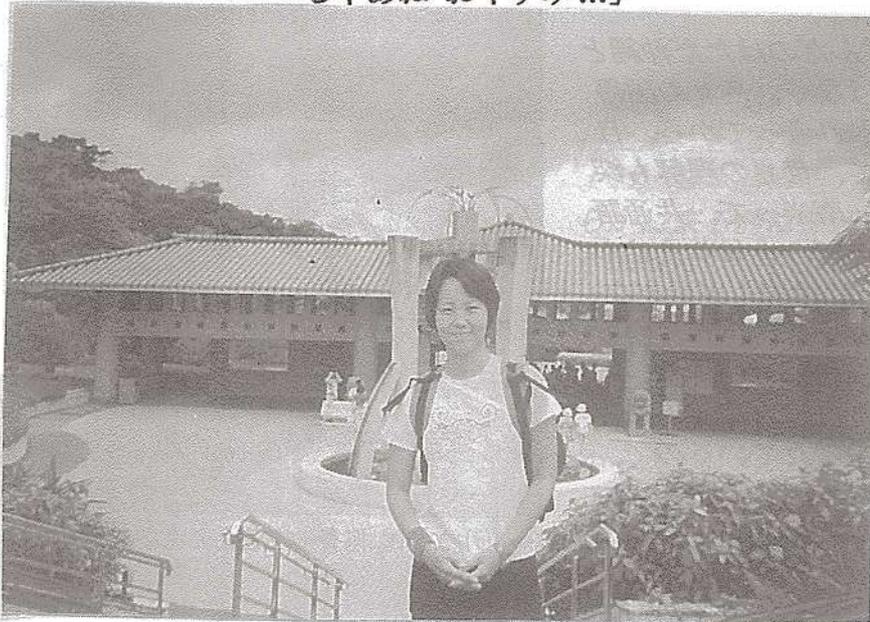
6月の月末、座間味島: 韓国人は殆どと一緒に旅。

一年間は本当に短かったと思います。本当はこれからだって感じなのに、もう帰らなければならなくて淋しいですよ。もっと沖縄にいたい、もっと沖縄を知りたい、もっと沖縄のために貢献したい、と強く思っているのに。

たとえ時はどう流れても、世界の何所にいても、この島であった全ては一生決して記憶から消えません。沖縄もう私の第二の故郷になったのです。

誠に、沖縄で知り合った皆さんに心から感謝したいと思います。皆のお蔭で私の沖縄生活は素晴らしかったし、満喫しました。それで、是非シンガポールに来て下さい。来たら、絶対連絡して下さいね。案内します！そして、将来は世界の何所かにまた会えたら、絶対声をかけてくださいね！

最後に、修了式の余興で歌う予定の曲、aikoの「おやすみなさい」の歌詞の一部を皆さんへ：
「絶対忘れたりしないよ あなたのことめーいっぱい楽しさ
過去を愛しく思えるように心を込めて最後のおやすみ
じゃあね おやすみ...」



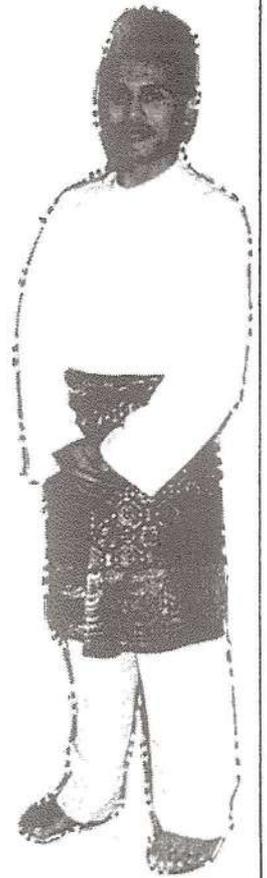
平成13年度沖縄県費留学生って最高でした！「乾杯~！」(^_^)

さよなら 沖縄

カイルル イズワン ビン ムサ
マレーシア

ある時、道が二つに分かれていて
どちらか一つを選ばないといけない。
出会いも 別れも あります。もし、別れが
いやでも、さけて通れない事です。私達も
同じです。

一年間、一糸着に勉強しました。
そろそろ別れの時が迎えに来る。
今は、自分の国に帰れるよこびが
大きいけど、帰った後はみんなと
別れた、さびしさが強くなるかもしれません。
でも、その時、一年間の思い出が
私を 抱きましてくれよう。



泣かないで



心の財産

「イズワンさん！あなたは日本に留学することができます」と平田さんは電話で私に言いました。その時私は信じられないと驚きました。そして「いつ出発ですか」ときいて、「来週です」といわれてもっとびっくりしました。その日から出発までの一週間は上の空でした。いろいろな事を考えて、夜も眠れませんでした。

2001年4月6日は私にとって一生忘れられない日になりました。なぜなら、その日は私が留学に出発した日だし、生まれて初めて飛行機に乗った日だからです。途中で、台湾の空港に寄ったのですが、不幸にも、私はそこで迷ってしまいました。1時間ぐらい空港の中をぐるぐる歩き回って、もう日本まで行かないかなと思いました。マレーシアにも戻れないし、中国語を勉強するしかないなと心配になりました。あきらめかけた時に、沖縄行きのアナウンスが聞こえました。すぐ飛行機に乗って、やっと沖縄に到着しました。沖縄だ！今から私の日本での生活が始まるんだ。

平成 13 年県費留学生になれて、幸運です。世界中のいろいろな国から来た人と出会えて楽しかったです。日本語だけではなく、それぞれの国の文化も学ぶことができました。さらに、一番よかったのは沖縄のやさしさを知る事ができた事です。ウチナンチュはのんびりしていてまるで楽園みたいです。

ここにいる間にエイサーをやる機会がありました。世界のウチナンチュ大会でそのエイサーを発表できて、本当に素晴らしかったです。ウチナンチュ大会だけではなく、先生のパーティーでも発表しました。エイサーを学べた事もよかったと思います。

この一年で、日本のいろいろなところを旅行する事ができました。沖縄だけではなく、12月のはじめに福岡と長崎に行きました。この時は日本語能力試験で福岡に行ったのですが、せっかくだから、観光もしようと思って長崎にも行きました。5人で旅行して楽しかったです。冬休みには、大阪と京都と神戸と長野に行きました。長野では、初めて雪を見ることが出来て、本当に感動しました。スノーボードもして、いっぱい転んで雪を食べてしまいました。おいしかったです！

たった一年でも、沖縄にいる間に、色々な新しい経験をする事ができました。いっぱい友達もできて、嬉しかったです。みんなやさしくって、まるで自分の家族のようでした。この一年は、本当に素晴らしかったです。



わんね～、うちな～んちゅ。



台風 16号